



《昨今の保育園の状況について》

雨に濡れたあじさいが美しい季節となりました。今回は市内の保育園の待機児童についてと不適切な保育について、こむぎ保育園の状況をお伝えします。

1 令和5年4月 小金井市の待機児童は0人になりました。

ここ数年続けていた市内の待機児は、この4月に0人になりました。加えて、6月の小金井市内の保育所の募集人数は、0歳児96名 1歳児21名 2歳児28名 3歳児78名 4歳児86名 5歳児109名となり、こむぎ保育園でも0歳児3名 2歳児1名 3歳児4名 合計8名の欠員がでています。新市長になり、公立保育園数園の閉園についても、今後の進捗状況を見守っていきたいと思っています。

2 不適切な保育について

昨年度より、不適切な保育について、報道が流れています。こむぎ保育園でも、保育の見直しの一環から、日本保育協会から出ている保育所等における人権擁護のためのセルフチェックリストを正規・臨時職員含め、全員で昨年実施しました。職員の自由記述も全文回覧し、日頃、何気なく行っている保育の中にも、お子様を傷つける行為がなかった、また保育士がお互いの保育について距離感を持って観察し、保育を話し合える環境作りにも努めていきたいと思っています。今年度も保育参加を行います。保護者の方々から貴重なご意見を賜り、さらに保育の改善に努めてまいりたいと思いますので、多くのご参加をお待ちしています。

季節のテーブル係（担当：内海 岩堀 山田 涌井）

季節のテーブル係では、毎月一回その月の行事や季節に合わせた装飾を玄関に飾っています！五月は「子どもの日」に合わせ、かぶとや鯉のぼりを飾りました。玄関を通るたびに、「おさかなさんだー！」「かっこいいね」「鯉のぼりみたことあるよ」等と目を輝かせるお子様達！そんな姿に保育士たちもとても癒されました！これからもその季節ならでは本物を使った飾りを楽しめるよう玄関を装飾していきます。楽しみにしていて下さい！

新園



現園

